



あんずだより



※冬号※

令和3年1月

新年、あけましておめでとうございます

去年は激動の一年となりました

様々な生活様式が変わり、出口が見えなく不安な気持ちになりがちですが

こういった状況だからこそ、できる何かを模索し

実りある一年にしていきたいと思えます

現在の受け入れ状況

あんずでは、昨年に引き続き感染対策を行いつつ受け入れを行っています。密を避けるために出来る限りの個別対応をしていますが、利用人数が多くなった場合は同じ病気のお子さん同士、同室にさせていただいております。インフルエンザや胃腸炎の流行が今のところない為、昨年に比べて利用者数は半分以下となっています。最近の傾向では溶連菌のお子さんが多く、溶連菌とアデノウイルス同時に陽性になるお子さんもいます。アデノウイルス扁桃炎は解熱してから48時間は登園・登校できない為、利用される場合は連続利用（最大5日まで可能）をお勧めしています。（市外の方は一日ごとの予約となります）

☆保育の様子☆

去年は病児保育室あんずにも、「鬼滅の刃」ブームが起きていました。折り紙で作ったキャラクターは大人気！！小学生は自分も作ってみたいと、保育士に教えてもらいながら一生懸命作る姿がみられました。

そして今も昔も変わらず大人気なアンパンマン（右の写真だと分かりにくいですが、鬼滅の刃の前に可愛く並んでいます）。まだ喋れないお子さんも「ん！ん！」とキャラクターを指さしては、これなあに？と言うように聞いてきます。初めて入室するお子さんは、馴染みのあるキャラクターを見つけると少し安心するようです。「これは？これは？」とのやり取りを繰り返していくうちに、少しずつ保育室に慣れてくることも。こういったキャラクター達にとっても助けられながら、日々保育看護をしています。

初めての利用で大丈夫かなと心配な方は、お子さんのお気に入りのおもちゃや絵本をご持参ください。



発行：2021年1月13日 病児保育室あんず





あんずだより

春号

令和3年4月

3月下旬、クリニック駐車場内にある【あんずの木】にきれいな花が咲きました❁

皆さんは、あんずの木がどこにあるか、ご存じでしょうか？

駐車場奥へ進む右手に“しみず小児科内科クリニック・病児保育室あんず”の看板が立っています。

その看板の前にあんずの木はあります。

今年もきれいな花をつけ、4月にはあんずの実が膨らんできました。

クリニックやあんずへお越しの際は、是非あんずの木を見つけてみて下さい。そして

耳を澄まし♪ホーホケキョウ♪の鳴き声が聞こえたら、その日はラッキーdayです☆彡

★★★最近のあんずの様子★★★

3月下旬から4月にかけてRSウイルスが大流行し“RSのお子さんで満室”といったことがしばしばありました。兄弟が時間差でかかり、2組の兄弟が同室といった日もありました。RSだけでなく、溶連菌も一年を通して利用が多くなっています。

今まで新型コロナウイルス対応の為、なるべく個別対応としてきました。しかし最近、利用児が多くなってきましたので、同じ症状や病名のお子さんは同室になる可能性がある事、ご了承いただければと思います。

同室の場合は、元気になってきた回復期のお子さんと、安静が必要な急性期のお子さんが一緒になることもあります。そうすると回復期のお子さんにはどうしても我慢をさせてしまうことがあります。ですので、感染の心配のない回復期のお子さんは、福生保育園併設の“病後児保育室”のご案内をさせていただいております。福生市内の病児一時預かり施設には、**病児保育室**と**病後児保育室**の2つがあります。上手に使い分けをし、ご利用いただければと思います。

お子さんの状態が、病児・病後児どちらか分からない場合は、病児保育室あんず（042-513-4158）までご相談下さい。

あんず利用の仕方

- ・必ず受診して病名がわかってからの電話予約となります。（医療機関はどここの医療機関でも可）
- ・事前登録の必要はありません。利用当日、登録書と利用申込書を記入していただきます。
- ・医師連絡票や診療情報提供書は必要ありません。





あんずだより

夏号

令和3年8月

今年7月9日金曜日、少しぱらつく雨の中、♪ミーンミーンミーン！♪と力強く鳴く一匹のセミの声があんずに響き渡りました。この夏初めて聞いたセミの声。8月になった今では毎日賑やかな大合唱が聞こえてきます♪夏本番です！！

病児保育室あんずがある牛浜交差点周辺はとても自然豊かです。近くに玉川上水や段丘崖の緑地があり、様々な生き物と出会えます。クリニック駐車場にはサワガニもいましたし、ウグイスやカワセミ、コゲラなど様々な鳥たちの声も沢山聞こえてきます。保育中、おもちゃで夢中になって遊んでいる子ども達も♪ホーホケキョウ♪と鳴く声に「何の音？」と窓の外を指さし、「また聞こえるかな」と期待しながらじっと待ちます。そんな子どもの姿を見ていると、豊かな自然に感謝の気持ちでいっぱいになります。



↑あんずの木に、実が
なりました(5月下旬)



★★★★最近のあんずの様子★★★★ ~おむつかぶれ・おしりのケア~

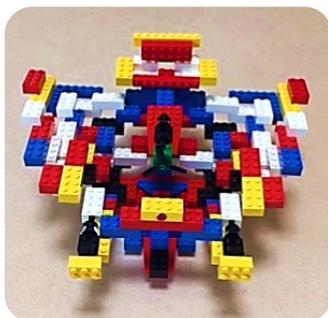
6月下旬~7月中旬は胃腸炎のお子さんが多く利用されました。胃腸炎では、下痢が一日に何度も出てしまう為、お尻がかぶれて真っ赤になって痛がるお子さんもいらっしゃいます。そんな時あんずでは、シャワーボトルを使ってうんちやおしっこを流してあげます。おしりふきだけだと頻繁におしりの皮膚を擦ることになり、どうしても刺激を与えてしまいます。ぬるま湯できれいに流してから、こすり拭きではなく、押さえ拭きをします。塗り薬が処方されている場合は、薬をたっぷり塗るようにします。そういったひと手間があるだけで、おむつかぶれの治りが早くなり、悪化するのも防いでくれます。「今オムツ取り替えたばかりなのに~」と泣きたくなる気持ちに負けず、ウンチが少しでも出たらこまめに取り替えてあげましょう。ちなみに、シャワーボトルを使う時、オムツの下に給水シートを敷いてから使うと、水漏れ防止に役立ちますよ！



↑シャワーボトル



★★★★あそび★★★★



あんずには小学生のお子さんも溶連菌や風邪症状で入室されます。ブロックや工作、保育者とのカードゲーム等で遊びながら過ごしています。←左の写真は小学校1年生男の子の作品【飛行機】です。ブロックが大好きで、あっという間に作っていました。よく見ると色もカタチも左右対称！凄い！！

発行：2021年8月10日 病児保育室あんず





あんずだより

令和3年

秋号



全国病児保育研究大会 in 北九州

病児保育室あんずは、毎年全国病児保育研究大会に参加しています。
今年も昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響でWEB開催となりましたが、全国各地様々な施設と意見交換ができ、病児保育についての最新の情報を得ることができました。

あんずでお預かりしたお子さんが、その日一日安心して過ごす為には、
どのような保育看護が必要なのか。

これまでの大会で学んだ事を日々の保育に活かしながら、
より良い保育看護をめざしていきたいと思ひます。

★毎年このような勉強をしています★

- ・病児保育の養護と遊びを工夫する
- ・病児保育室での緊急時対応
- ・基礎小児医学
- ・神経発達症の子ども達に学ぶ
- ・症例検討
- ・小学生への関わり方とあそび



☆☆☆最近のあんずの様子☆☆☆



最近、風邪での利用が多く、咳が出てゼーゼーしてしまうお子さんも増えています。ゼーゼーが酷い場合は、医師の指示で吸入を行っています。また、季節問わず溶連菌も多くなっています。溶連菌は大人にも感染しますので、マスクや手洗いうがいをきちんとするように心がけましょう。

～遊びの様子～

←左の写真は、車好きな2才の男の子。家から持参した白い車を走らせよく遊んでいました。途中、あんずにあるブロックのガソリンスタンドを出すと、「洗車場も欲しいな」とのこと。あんずには洗車場のおもちゃはないので、ブロックにチェーンを吊り下げ、【即席洗車場】を作りました。すると男の子は大喜び！！一日中このおもちゃで遊んでくれました☆

発行：2021年11月5日 病児保育室あんず

